

令和5年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 兼 第77回 関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

令和5年6月11日(日) Bブロック 準決勝 小瀬スポーツ公園体育館 Bコート 第1試合

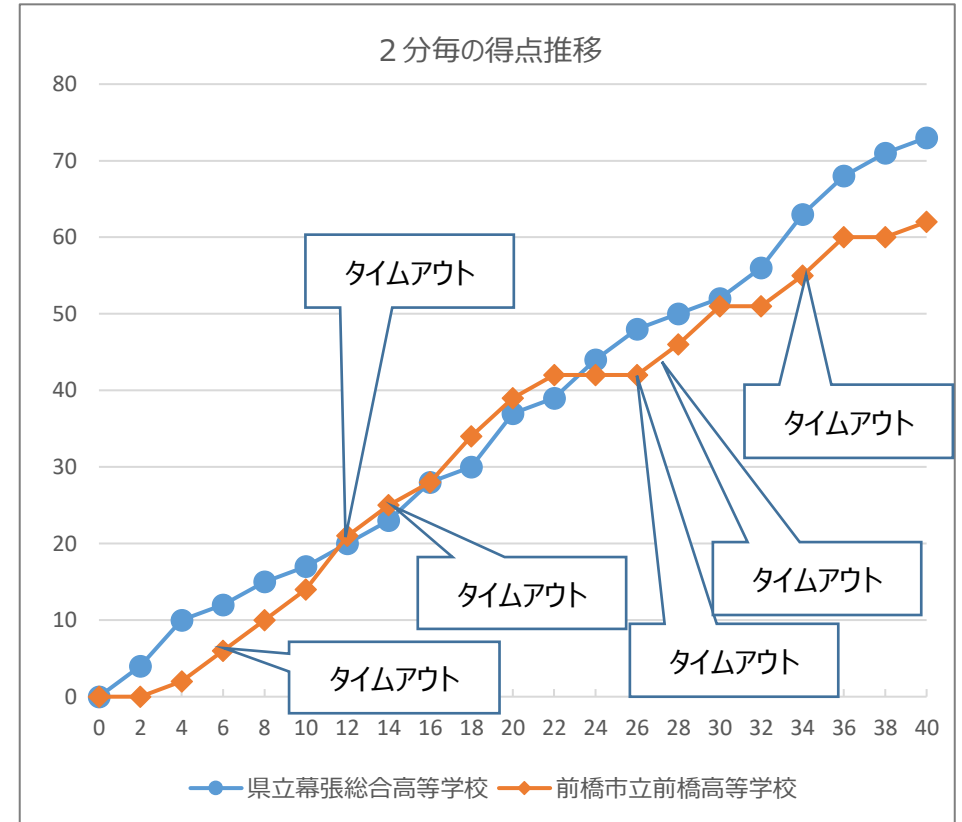
チームA		17	1st	14			チームB
県立幕張総合高等学校 (千葉県)	73	20	2nd	25	62	前橋市立前橋高等学校 (群馬県)	
		15	3rd	12			
		21	4th	11			
		OT					

Aチーム： 県立幕張総合高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	堀越 ゆらら	12	1	9	4	9	1	4	3	3	6	9
2	*	5	山下 陽	22	1	5	9	13	1	1	2	4	7	11
3	*	6	落合 渚奈	16	0	5	8	15	0	0	2	5	8	13
4		7	ヤマノティ-天音ビートクリス											
5		8	森 明日香	14	4	8	1	4	0	0	2	2	1	3
6		9	勝股 美月											
7		10	岩満 遥	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8		11	石井 恵加											
9		12	小糸 晴美											
10		13	高橋 滯											
11		14	鈴木 芽											
12	*	15	成澤 果歩	4	0	0	2	6	0	0	2	5	2	7
13	*	16	玄角 葉奈	5	1	6	1	1	0	0	0	0	1	1
14		17	久保山 葵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
15		18	串部 滯											
HC/TEAM				高松淳史								0	0	0
合計				73	7	33	25	48	2	5	12	19	26	45

Bチーム： 前橋市立前橋高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	関口 まお	15	0	9	5	13	5	9	2	3	3	6
2	*	5	小室 菜々子	3	1	10	0	1	0	0	1	0	2	2
3	*	6	阿久津 みなみ	18	0	1	7	15	4	6	2	1	6	7
4	*	7	戸塚 妃莉	18	2	7	6	8	0	0	4	2	3	5
5		8	三富 さくら											
6		9	鈴木 優良											
7	*	10	鉦田 ひかり	2	0	0	1	3	0	0	0	0	1	1
8		11	中沢 愛心											
9		12	吉田 海愛	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2
10		13	松井 瑠花											
11		14	瀧本 真莉亜	6	0	0	3	5	0	2	4	1	1	2
12		15	関口 いろは											
13		16	佐々木 愛心											
14		17	戸谷 夢姫											
15		18	佐俣 萌果											
HC/TEAM				赤石 和子								0	1	1
合計				62	3	28	22	45	9	17	13	7	19	26



戦評

記者：竹森 雅音 (山梨県高体連)

幕張総合オールコートマンツーマン、市立前橋ハーフコートゾーンでスタート。市立前橋のゾーンに対して、落ち着いてゾーンアタックを展開し、開始5分で幕張総合12-2とリード。対する市立前橋は、ビックスクリーン、3Pで対抗するもなかなか得点が決まらず4:59たまたまずタイムアウト。その後、市立前橋#7のドライブイン、スティールから連続得点を重ね追い上げるも、17-14幕張総合リードで1Q終了。2Q、幕張総合#8の3Pで先制。その後市立前橋#7が3Pを入れ返し、#4のJSが連続で決まったところで幕張総合タイムアウト。しかしタイムアウト明け、市立前橋#14のドライブインで得点を重ね、21-20とこの試合初めてのリードを奪う。その後、両チームとも一進一退の攻防を続け、39-37と市立前橋がリードを保ったまま2Q終了。3Q、両チームともディフェンスは変わらず。幕張総合がゾーンを攻略し、得点を重ねる。市立前橋はミスが続き、4:54タイムアウトを請求。その後、立て直しを図るが、幕張総合はオールコートプレスに変更し、相手のミスから得点を重ね再びリードを奪う。対する市立前橋は#6、#7のJSで何とか食らいつき、52-51幕張総合リードで終了。4Q、幕張総合がさらにギアをあげ、激しいディフェンスから相手のミスを誘い、63-53と一気に突き放す。残り6:20市立前橋はたまたまず最後のタイムアウトを請求。その後オールコートマンツーマンに変更するも、幕張総合は冷静に対応し、#8が連続3Pを決めるなどなかなか点差が縮まらない。どちらも激しいディフェンスを仕掛けてながらゴールにアタックし続けたが、最後まで冷静に対応した幕張総合が73-62で勝利した。

主審	第1副審	第2副審
大庭 英裕 (本部)	前田 菜津子 (山梨県)	大木 裕一 (山梨県)